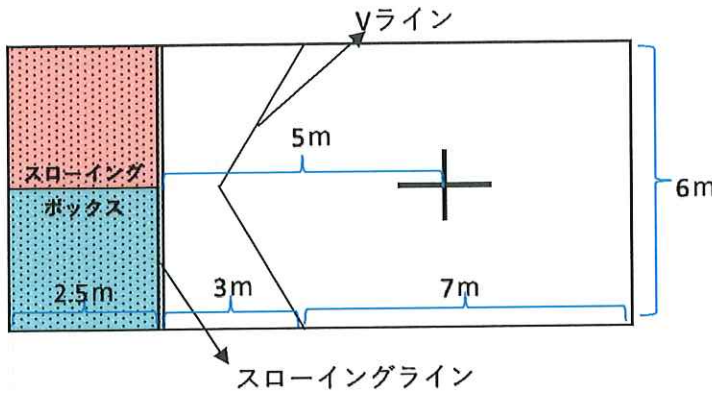


屋内活動

プログラム名	ポッチャ ※団体主導			
概要	パラスポーツである「ポッチャ」に慣れ親しむ。 ルールは簡易かつ集団用にアレンジした青年の家ローカルルールで行う。			
ねらい	グループで協力してゲームに取組み、団体内のふれあいを深めたり、積極性や協調性を養う。 ゲームを安全かつ公正に行うことでルールを守り協力することの大切さを学ぶ。 パラスポーツへの理解と関心を深める。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～60人（5人以上）
	活動目安時間	90～120分	活動時期	通年
	活動場所	体育館・研修室2・他	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）飲料 （団体）手指消毒スプレー（各コート1本以上） （貸出）ポッチャセット（5セットまで）（1セット当たり赤青各6球）			
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症対策（休憩・水分補給） 感染症対策（各ゲーム開始前に手指消毒）			
活動内容（手順）				
<p>事 前①指導者配置：活動指導（準備、進行）、巡視指導（活動中の研修生の補助や指導・助言）</p> <p>②グループ編成：1チーム1～6人程度の編成</p> <p>②下見の実施：活動エリア状況と安全把握</p> <p>③実施方法の決定：総当たり戦やトーナメント戦等の実施方法を定める（進行の不明点などは要相談）</p> <p>④研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「留意点」等を指導、服装や持ち物の確認</p>				
<p>活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と団体責任者・担当指導者にて実施</p> <p>確認事項：人数、健康状態、貸出備品</p> <p>備品をすべて持って活動場所へ移動</p> <p>②準備：研修室で実施の場合は机椅子をコート外に移動する（机のロックはフリーにして動かす）</p>				
<p>活 動①活動場所へ移動（グループ毎に整列）</p> <p>②指導：指導者より</p> <p>ポッチャとは</p> <p>注意事項、進行方法の説明</p> <p>③活動開始：次ゲーム者はスローイングボックス付近で待機</p> <p>④確認事項：人数、健康状態</p> <p>⑤活動終了：ゲーム終了、振り返り（活動の感想を発表）</p> <p>⑥片付け（片付け担当）：備品の返却</p> <p>研修室で実施の場合は机椅子を元の位置に戻す（机のロックはフリーにして動かす）</p> <p>体育館で実施の場合はモップ掛けを行う</p>				

ボッチャ 各名称、ゲーム進行例

【コート各名称】

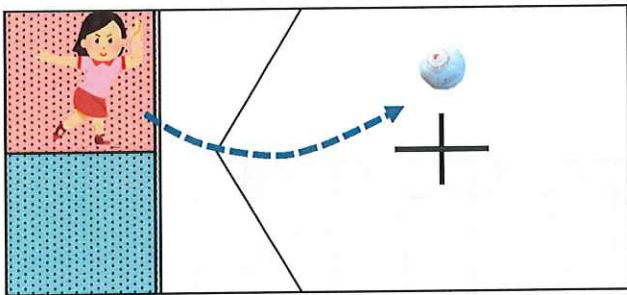


【用具各名称】



【ゲーム進行】 (例)

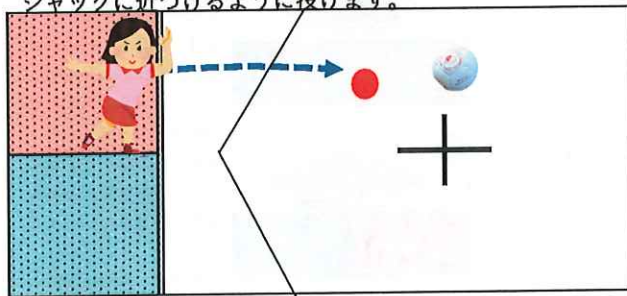
1.じゃんけん等で先攻後攻を決定。先行はジャックを投球します。



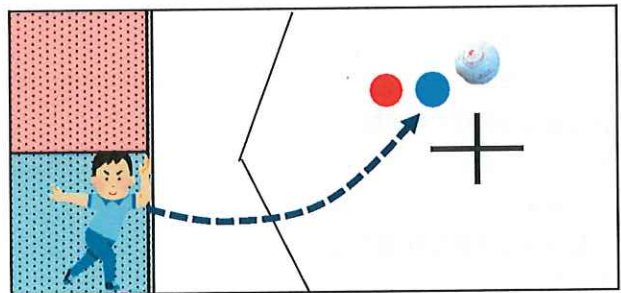
【ジャックボールの取り扱いについて】

- 最初のジャック投球時に、Vラインをはみ出したり、コート外に出た場合。
→投球権が後攻に映ります。
- 試合中にはじき出されてコート外に出た場合
→中央の「+」の位置に移動します。

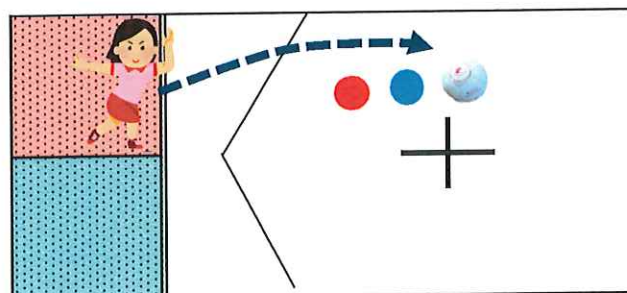
2.続いて自チームのカラーのボール (赤または青) をジャックに近づけるように投げます。



3. 後攻が投げます。



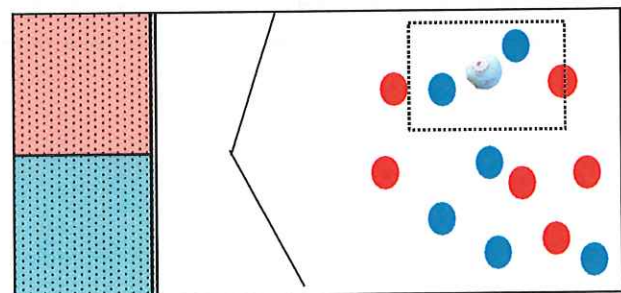
4.以降は、ジャックから遠い側のチームが投げます。



5. お互いに6球投げたら終了です。

ジャックボールに近いチームが勝ち!

※先に他チームが6球投げ切ってしまった場合も残り球は投げます。



ボツチャ

青年の家 日一カルルール

- ① チーム内で投げる順番を決めておく
- ② ボールをさわる前に手指の消毒
- ③ **赤チーム・青チーム**で先攻後攻のじゃんけん
(先攻が白いジャックボールを投げる)
- ④ 両チームとも第1投を投げた後はジャックボールから遠いチームが投げる
- ⑤ 相手チームが投げ終わっても残りのボールは投げる
- ⑥ 最終的にジャックボールに一番近いチームが勝ち!
- ⑦ 元の位置にすべてのボールを戻す

ボッチャ 試合進行表(3コート6チームの場合)

チーム名	A	B	C	D	E	F

場所 試合順	1 コート		2 コート		3 コート	
	①	A	B	C	D	E
②	A	C	B	E	D	F
③	A	D	B	F	C	E
④	A	E	B	D	C	F
⑤	A	F	B	C	D	E
⑥						
⑦						